

アジア金融市場における適切な資金供給のあり方について

平成24年2月10日

みずほ証券株式会社
執行役員

グローバルリスク管理グループ長
藤井健司

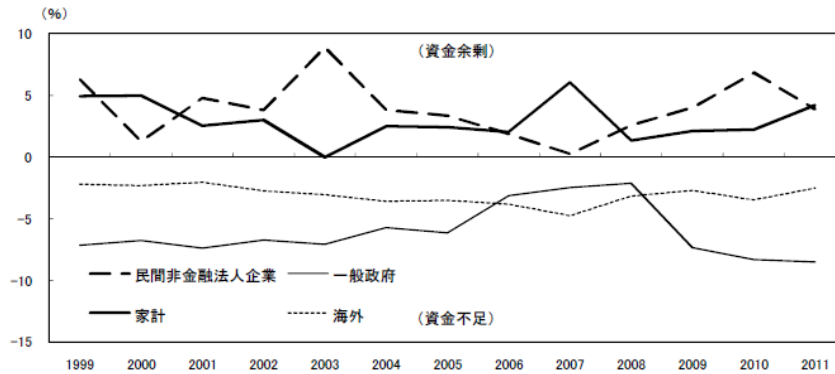
*本資料は、筆者が個人の責任において作成したものであり、その意見・内容等は、筆者の属する組織のものではない。また、内容に関する有り得べき誤りは、すべて筆者個人の責任に帰属する。

本日のプレゼンテーション内容

- 以下では、本邦の経験を踏まえ、3つの点からアジア市場における資金供給を検討する
 - 本邦の資金供給のパターンについて
 - 本邦の経験を踏まえた、アジア市場における民間事業法人向けの資金供給の可能性について
 - 市場に求められる必要十分条件について

本邦の資金循環の基本的なパターン

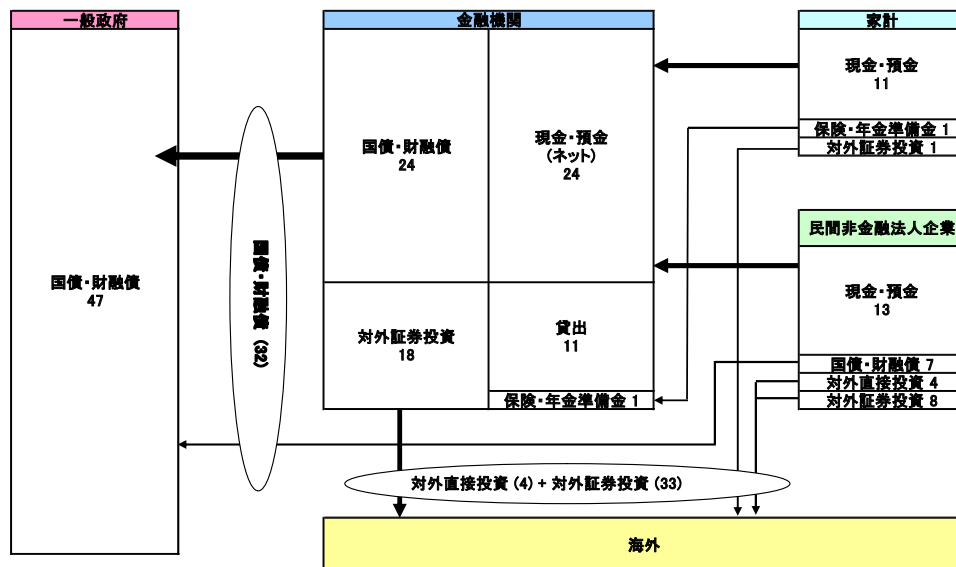
- 資金余剰セクターは
 - 家計
 - 民間非金融事業法人



「2010年度資金循環統計」、日本銀行

主要部門間の金融取引フロー(2010年度)

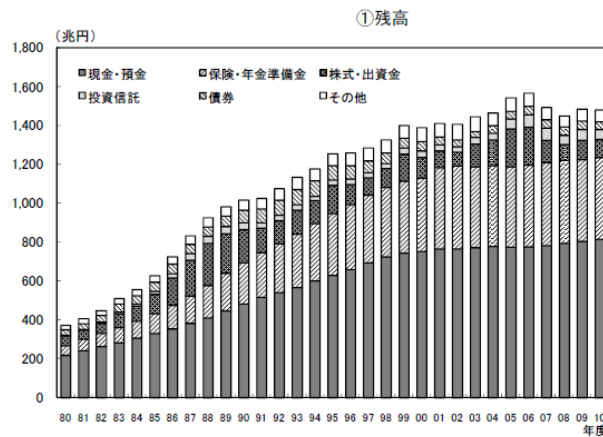
(単位: 兆円)



「2010年度資金循環統計」、日本銀行より

家計の資産動向

- 家計資産の太宗は
 - 現金・預金
 - 保険・年金準備金



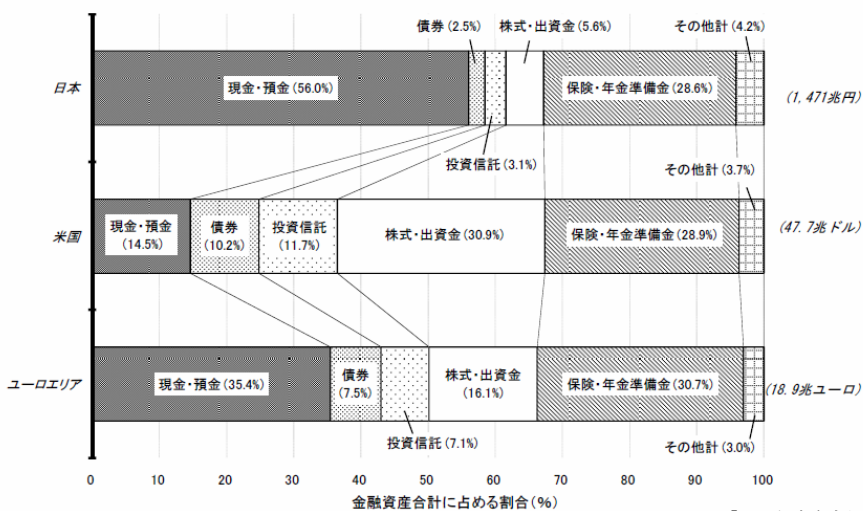
「2010年度資金循環統計」、日本銀行

邦銀による中小企業資金供給の限界

- 所要資本規制・流動性規制が制約条件となる可能性
 - バーゼルⅡ資本規制
 - 中小企業融資は軽減措置あり
 - バーゼルⅢ資本規制・流動性規制
- 中小企業融資における貸し手側と借り手側の期待ギャップ
 - 財務情報の不足
 - 正確な財務情報のタイムリーな受渡し
 - 会計監査の徹底
- 結果として、中小企業融資の多くが、政府支援制度に頼る形に

代替ルートとしての投資信託？

- 家計資産の国際比較(日・米・欧) ~ 構成変化に余地はあるか？

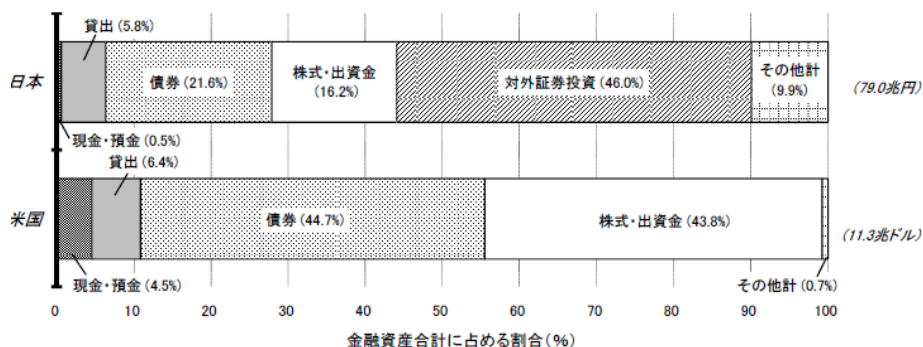


「2010年度資金循環統計」、日本銀行

投資信託のポートフォリオ構成

- 多くが、対外証券投資へ
- 国内株式・出資金への投資は限定的

図表5 投資信託の資産構成



*「その他計」は、金融資産合計から、「現金・預金」、「貸出」、「債券」、「株式・出資金」、「対外証券投資」(日本のみ)を控除した残差。
 **米国の資金循環統計の取引項目では、国内・海外証券の区別をしておらず、取引項目「対外証券投資」が設けられていない。

「2010年度資金循環統計」、日本銀行

考えられる資本市場スキーム例 – アジア市場へのインプリケーション

- 資産担保証券スキーム(ローン証券化商品(CLO)、社債担保証券(CBO)等)
- 公的支援スキーム
- 官民ジョイントベンチャーファンド

必要となる市場インフラ – アジア市場へのインプリケーション

- 現物市場の整備
 - 「ベンチマーク」債券の設置
 - レポ市場の創設
 - 流動性のある現物・デリバティブ市場の育成
- 市場インフラの整備
 - 中央清算機関の創設(CCP)
 - スワップ・派生商品市場の育成
 - 格付機関
- 制度面の対応
 - 派生商品法制
 - ISDAネットティング契約